

藤枝・図書館友の会ニュース

<第22号・2015年4月発行>

2面/総会報告 子どもの部屋読み語り 3面/リサイクル市収益金で絵本贈呈
4面/「原発ホワイトアウト」読後感、草谷桂子氏講演会に参加して
5面/県図書館交流会案内 6面/ブックトーク、学校図書館司書の充実を

函南図書館見学会のお誘い

7月2日(木)・朝9時、藤枝駅南口出発



<ご案内>

町制50年記念事業として2013年4月7日開館した真新しい図書館。愛称“かんなみ知恵の和館”の中心施設。延床面積2,800㎡、蔵書数9万点余。

図書館に必要な要素が整い、レイアウトも工夫され、本の展示も見やすく、明るい魅力的な図書館で、一見の価値あります。

バスをチャーター、車中も楽しみながらの見学会です。ぜひ、お出かけくださるようご案内します。

◆実施日/2015年7月2日(木) 9:00 藤枝駅南口出発、17時帰着予定

◆参加費/2,500円(バス代)、昼食は各自負担

◆コース/藤枝駅南口⇒藤枝市役所⇒新東名経由⇒函南図書館・見学90分⇒昼食休憩
⇒函南佛の里美術館見学⇒三島村の駅⇒帰路

◆定員/25名(先着順)

◆申込先/電話・Fax054-635-0122(桑原宅)

※申込みされた方には、別途、詳しい「参加のしおり」をお届けします。

「ビブリオバトル」を開催します!

友の会主催で、次のように開きます。ふるってご参加ください。

◆日時/6月7日(日) 13:30~15:00

◆会場/藤枝市立駅南図書館

☆パトラー(本を紹介したい人・発表者)募集! 5名

(参加費無料)

(申込締切/5月17日/事務局まで)

☆観覧をご希望の方は、当日お出かけください。定員50名(先着順)

詳しい内容は、同封チラシをご覧ください。

駅南図書館の「おはなし会」協力・ビブリオバトル開催を重点に！

— 2015年度友の会総会 —

藤枝・図書館友の会会長 南雲初義

2009年2月28日、待望の駅南図書館がオープンしたことにより、目的を達成した「駅周辺に新しい図書館をつくる市民の会」は発展的に解散した。4月、藤枝市の図書館を支援しようと新たに「藤枝・図書館友の会」を立ち上げ、今年の総会で早7年目を迎える。

この間、様々な活動を行ってきた。その中のいくつかの活動を紹介する。

- 1 友の会発足以来、「本のリサイクル市」を続けて6回実施した。市民の皆さんからの寄贈書籍の合計は16,350冊、売上代金は30数万円、これを新書本に換えて市の図書館に寄贈した。今年、大型絵本等35冊と大型絵本運搬用バック8個（手作り）を寄贈した。諸事情により、2015年度の「リサイクル市」は中止する。
- 2 市立図書館、学校図書館等の充実を願い、毎年、市長・図書館長に要望書を提出し話し合いを行ってきた。副市長を中心に真摯な対応を頂いた。市立図書館の直営の堅持、図書館は市の教育文化政策の司令塔、図書購入費の一定水準確保等の言明をいただいた。
- 3 読書会も実施してきた。昨年はシェークスピア生誕450周年ということで講師に又木克昌氏（日本シェークスピア協会会員）を迎え、本場（イギリス）の生の息吹を味わった。友の会の活動は、もちろん100名余からなる会員に支えられているが、日々の活動は自発性に基づく運営委員会を中心に行われている。

高齢化と体調不良、病気等で運営委員メンバーの新陳代謝も激しいのが実態である。

そんな中で、昨年より男子高校生がメンバーに加わってくれた。彼は、ビブリオバトルに燃えている。2015年度の友の会活動の重点は次の通りである。

- ① ビブリオバトルや読書会（源氏物語を予定）の開催
- ② 図書館が行う「子どもの部屋読み語り」への協力・参加
- ③ 図書館見学会（函南図書館等）の実施

なお、今年の総会への参加者は30名であった。

駅南図書館で読み語りやってみませんか！

藤枝市立駅南図書館では「えきなんとしょかん おはなし会」を行います。◆開催日/毎週土・日曜日

◆時間/午後2時～2時30分

読み語りは図書館職員やボランティアの皆さんが担当。友の会は、会員有志3～4名一組になり読み語りに参加する取り込みを始めています。図書館がお知らせに載せるため、絵本は事前に選り連絡しておきます。

“子どもたちの生き生きした反応は読み手が嬉しくなる”とは参加者の感想。

会員の皆さまも読み語りに参加してみませんか。まずは、見学から始めるのも良いかもしれません。関心ある方は、まずご連絡ください。

友の会・担当/鈴木由利子 電話 643-1915



↑ おはなし会（昨年11月）

「おはなし会」は岡出山図書館、岡部図書館も行っています。

開催日が駅南図書館と異なる場合があります。ご注意ください。

「本のリサイクル市」収益金で市立図書館へ絵本を寄贈



3月8日開催の総会席上、絵本35冊と手づくりの布製大型絵本運搬用バッグ8個を市立図書館へ寄贈しました。これは、友の会が行った「本のリサイクル市」収益金によるものです。

リサイクル市開催にご支援・ご協力いただいた市民の皆さまにお礼申し上げます。今回の寄贈絵本リストは次のとおりです。

←リサイクル市担当者が成岡図書館長へ手渡した。

書名	出版社	配布先	冊数	金額
ごろごろにゃーん	福音館	岡部	1	864
さんすうサウルス	〃	岡出山	1	1296
かえるの竹取ものがたり	〃	駅南	1	1944
おおかみだってきをつけて	フレーベル	駅南	1	1296
ぼくのたいせつなぼうし	〃	岡出山	1	1296
はらぺこあおむし	偕成社	駅南	1	1296
こんぎつね	〃	岡出山	1	1512
手ぶくろを買いに	〃	岡部	1	1512
おかあさんだいすきだよ	金の星社	3館	3	3888
ぼく、おかあさんのこと	文溪堂	3館	3	4860
大型絵本 どうぞのいす	チャイルド本社	岡部	1	10260
〃 おこだでませんように	小学館	岡部 岡出山	2	19440
〃 花さき山	岩崎書店	岡部 駅南	2	20520
〃 びょーん	ポプラ社	駅南	1	5130
〃 ありとすいか	〃	岡出山	1	5130
〃 おとうさんババおとうちゃん	鈴木出版	岡部 岡出山	2	17280
よじはん よじはん	福音館	3館	3	3564
へいわってすてきだね	ブロンズ新社	3館	3	4536
初雪のふる日	偕成社	3館	3	4536
おべんとう なあに	〃	3館	3	3240
		(合計)	35	113400

「本のリサイクル市」は、第6回(昨年)をもって終了しました

藤枝・図書館友の会結成(2009年)以後、年1回開催してきましたが諸般の事情から、第6回(昨秋)で終了することとしました。

■開催の記録は次のとおり。

第1回…2009年11月14日

第2回…2010年10月24日

第3回…2011年10月9日

第4回…2012年10月28日

第5回…2013年11月10日

第6回…2014年10月19日

■会場はBivi1階をお借りして開催。

(第1回のみ隣の空き店舗)

■市民の皆さまからの寄贈本

合計16,350冊 ※これら書籍の内、図書館が希望した本は、毎回、リサイクル市で販売する前に図書館へ寄贈しました。

■市立図書館への書籍寄贈額

合計371,840円

読み終えた本を有効活用するという点で、「市」が一定の役割を果たしたと思います。

ビブリオバトルが話題となった運営委員会で3人のバトルによる“ミニバトル”を試みた。「原発ホワイトアウト」はその際のチャンプ本。バトルに発言内容を記していただいた。

『原発ホワイトアウト』 若杉 洸著（講談社刊）

南雲初義（友の会会員）

この小説は、「原発再稼働」を主張する電力会社、政権中枢の政治家、高級官僚の意図・カラクリを暴露した内部告発小説といえる。著者は霞が関の覆面現役官僚である。2013年、18万部を超えベストセラーになった。読んでの衝撃は、「電力モンスターシステム」を暴いたところ。

そのシステムとは、電力会社の料金徴収方式＝総括原価方式（事業に係る経費に一定の報酬率を乗じた額を消費者から電気料金として自動的に回収できる仕組み）によってもたらされる超過利潤（レント）の一部を預託金として溜め込、その潤沢な資金で、パーティー券購入、政治献金、学者、メディアの買収等行うシステム。小説の中では、関東電力（東京電力）の「東栄会」の預託金年間約800億円、日本の10電力会社が同じシステム。さらに電力会社を統合した日本電力連盟の預託金は年間400億円。この連盟の常務理事で同時に東京電力の「東栄会」の総務部長が小島巖で彼が考案したシステムである。彼の謀略で原発再稼働に反対する伊豆田新崎県知事（泉田新潟県知事を想定）は牢に入る。

12月31日、午後11時44分、NHKの「紅白歌合戦」で「蛍の光」の合唱が流れ始めたころ、小島巖に恨みを持つ、金山 剛（元関東電力社員）によって、新潟原発の送電塔がダイナマイトで爆破される。その日は雪で視界が利かないホワイトアウトでもあった。金山が属したテロ組織の大陸から派遣された崔によって金山自身も殺害される。「目の前が閃光に包まれ、何も見えなくなっていた。ホワイトアウトが金山の脳裏にも出現していた」

送電塔破壊によって、新潟原発では、メルトスルーが起こった。さあどうなるか。

その先を知りたい人は、続編『東京ブラックアウト』をお読みあれ。終章の最後のページには、本書の印税の一部は、「東日本大震災ふくしまこども寄付金に寄付されます」と記されている。

草谷桂子氏の講演会に参加して

関口やち代（友の会会員）

！講演会の様子



3月8日、友の会総会後「絵本で楽しむ図書館の魅力」のテーマで児童文学者・草谷桂子さんの講演会が開かれた。まず家庭文庫「巴文庫」のお話、集まってくる子どもたちの交流、体験等、文庫の素晴らしさ、楽しさ、喜びを知ることができた。次に、図書館づくり運動に関わった33年間のお話では、図書館は情報と資料の支援活動の場、社会とのつながりの場、大いに利用すべきと感じた。

ここから本題に入り、生活の中に溶け込んでいる図書館、司書さんの魅力、様々な図書館の可能性、言葉の力・図書館の力と本の中に出てくる図書館の紹介へと、話に引き込まれる。こんなにも、図書館とのつながりのある本があるなんて！ これからゆっくり読んでいきたい。

「僕が一番望むこと」は「みさきめぐりのとしょかんバス」、「大草原のとしょかんバス」に乗り、「うみのどうぶつとしょかんせん」に行き「ポチポチのとしょかん」で「ステラの絵本さがし」を助け「としょかんライオン」や「としょかんねずみ」、「としょかんねこデューイ」に逢い「私の特別な場所」を探すのもいいかなと思う。図書館の魅力を感じたひと時でした。

※「」内は紹介された本のタイトル

第19回 静岡県図書館交流会のご案内



<図書館交流会とは!?!>

図書館を利用する人、図書館で働く人、図書館に興味のある人、図書館で活動する人、これら全ての人たちと、図書館のことを楽しく学び、交流する集いです。

始まったのは1996年。以後、毎年開催しています。

- ★日時 2015年6月20日(土) 10時~16時(受付9:30~)
- ★会場 静岡県立中央図書館 会議室
- ★講演 『走れ! 移動図書館 本でよりそう復興支援』
- ★講師 鎌倉幸子氏(公益社団法人シャント国際ボランティア会)
- ★報告 図書館活動報告(静岡県立・浜松市・東伊豆町)

- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:15 開会 挨拶 実行委員長挨拶など
- 10:15~11:30 図書館活動の報告
 - 1. 「子ども図書館研究室10年の歩み」 県立中央図書館職員
 - 2. 「こんにちは! 浜松市立佐久間図書館です」 浜松市立佐久間図書館 長谷川陽子
 - 3. 「図書館の明るい未来を信じて」 東伊豆町立図書館 内山淳子
- 11:30~13:00 昼食・休憩
- 13:00~14:30 講演「走れ東北 移動図書館プロジェクト」講師 鎌倉幸子氏
- 14:40~16:00 交流会、16:00 閉会

シャント国際ボランティア会とは? (同会ホームページ <http://www.sva.or.jp/>より)

「アジアで子どもたちへの教育支援や緊急救援活動を行うNGOです。教育には人生を変える力があると信じています。私たちは、すべての子どもたちに教育の機会を届けるため地域の文化や対話を大切にしながら図書館活動や学校建設を行っています。」

講師の鎌倉氏は、同会の広報課課長兼東日本大震災図書館事業アドバイザーを務める。

演題と同じ名の本が出版されている。『ちくまプリマー新書』¥907。当日、鎌倉氏が本を持参されるので、ご希望の方、是非、ご購入ください。

<参加ご案内>

- ☆対象 どなたでもご参加いただけます。
- ☆参加費 700円
- ☆申込 ①氏名 ②所属 ③連絡先
を記載して下記あてFaxして下さい。
054-261-7704
- ☆締切 6月10日(水)まで。
当日参加もOKです!

藤枝・図書館友の会の取り組み

当会の南雲会長が実行委員長を務め、成功に向け奮闘しています。多くの会員が参加くださるようお願いいたします。

①参加費を会で負担します。

(第2回運委で申し合せました)

②申込みは友の会事務局でも結構です。

Fax054-635-0122 桑原

「きよしこ」 重松 清著（新潮文庫）

三輪勇介（友の会会員）



この本の物語は幼い息子を持つ母親から著者あてへの一通の手紙から始まります。その手紙は、著者が息子と同じ悩みを抱えつつも作家として頑張っていて、どうか息子を励ましてほしいといった内容でした。でも、著者は数日間悩んだ末、手紙を返しません。代わりに物語を書くことで本をそばにおいてほしい「ただ、そばにいる」ことができるから。

少年は、ひとりぼっちだった。名前は、きよし。いつも言いたいことを言えずに悔しかった。悪いことをしても、ごめんなさいと言えない。そのことで、ますます怒られて、逃げ出して寂しくなる。思ったことを何でも話せる友達がほしかった。そんな友達は、夢の中の世界にしかいないと知っていたけど、あるクリスマスの夜に出会った君。名前は、きよしこ。楽しいことも辛かったこと何でも話せたけど、いつまでも一緒にはいられない。

でも、ずっとそばには居てくれる。大事な言葉を残して。
読んで、心温まってください。

「学校図書館」への司書配置、更なる充実を！

学校図書館を有効に機能させるため欠かせない学校司書、まだまだ不足しています。

この4月、学校図書館に司書を置くことを努力義務とする「改正学校図書館法」が施行されました。先生が司書の役割を担う司書教諭がいる学校もありますが、担任を兼務するなど図書館の仕事に専念できず学校司書の充実が求められます。

藤枝市では現在、小・中学校27校で14名の司書。昨秋、友の会が副市長と話し合った際、この改善を求めたのに対し「学校司書（非常勤）をもう少し増やしたい」と言明、今後の改善が期待されます。司書が安心して職務を遂行できる処遇も必要です。

また、学校図書館の資料充実も課題です。学習活動を充実させる場として学校図書館を位置づける国は、年間200億円を図書整備に15億円を新聞の配備に予算措置しています。

これがどのように活用されているかも問題です。

「学校図書館図書標準」によると、例えば12学級では小学校・7,960点、中学校・10,720点の資料が必要と定めています。

これは最低基準、この基準が満たされているかの把握も必要です。

友の会は活動として、今後、実態把握に取り組んでいきます。

友の会からお願い

いつも「友の会」活動へご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。

友の会は、ここ1～2年、会員の高齢化や健康問題等で退会する人が新会員を上回る傾向が出ていて、会員数が100名ほど。皆さまのお力添えで新会員を迎えたいと切に思います。どうぞよろしく！

編集後記 総会を終え2015年度が始まった。会はいくつの変遷を経て今年は「ビブリオバトル開催」、「駅南図書館こどもの部屋・読み語り」に取り組む方針を決めた。ビブリオバトルは会として初めての経験なので手探りの部分もある。会員の皆さま、ぜひ、ご参加を！図書館見学会も楽しいですよ。(H・K)

藤枝・図書館友の会ニュース第22号

2015年4月発行

メールアドレス fujieda_totomo@yahoo.co.jp

ホームページ「藤枝図書館友の会」で検索してください。

<連絡先> 〒426-0044 藤枝市大東町304-3・桑原英實
電話・FAX054-635-0122